



桂川っ子よ 大志を抱け！

～桂川中学校2年生 職場体験奮闘記～

朝

晩は涼しく、秋の足音が聞こえ始めた9月13日から16日までの4日間、桂川中学校の2年生が「総合的な学習の時間」を使って職場体験を行いました。

生徒103人は、町内外34の事業所に分かれ、それぞれの職場で仕事に従事しました。

現在、我が国ではこれまでの終身雇用、年功序列、学歴による処遇といった雇用の慣行が変化し、ニートやフリーターといった若者が仕事に定着しない、できないといった社会問題が深刻になってきています。



そのため、早い段階で働くことへの意義を見いだし、生涯にわたり社会の中で主体的に生きていくための力の習得や、近い将来を見据えた進路選択の手がかりとすることを目的として、この職場体験学習は実施されています。また、机上では学べない地域社会とのつながりや社会性、規範意識などを実体験の中で学び育む機会でもあります。

生徒は、1学期のうちから「働くということとは?」「自分にあつた仕事とは?」「将来の希望」など職場体験に向けての自己分析を行い、

就職活動しながらに自分たちで仕事を体験したい希望職種の事業所へ出向き、体験学習受け入れを依頼し、接遇などの事前研修を経て、この職場体験に臨みました。

今回は、「雑誌やフリーマガジンの編集に興味がある。」「写真に関連した仕事に興味がある。」といった4人の生徒が、本誌「広報けいせん」の制作現場に職場体験にやつてきました。そこで、彼女たち自身に「取材、紙面の編集・制作」を学んでもらい、各事業所で働く同級生の職場体験風景を紹介してもらいました。

